

梅ヶ島 山の声

第12号 平成26年3月 発行
発行者 国土交通省 中部地方整備局
静岡河川事務所 梅ヶ島出張所
Tel: 054-269-2003 Fax: 054-269-2150
http://www.cbr.mlit.go.jp/shizukawa/



～ 梅ヶ島出張所通信 ～

コノハスっくん

お世話になりました



運転手の寺尾です。3月末で第2の人生を定年退職します。
梅ヶ島出張所の担当になって1年8ヶ月、暑い日の現場、寒い時の洗車、校門橋での出来事、沢山の思い出ができました。
この経験を忘れることなく、4月からの第3の人生を健康に注意し安全運転で頑張ります。
お世話になった皆様、本当にありがとうございました。



平成15年に初期登録した現在の車は、2月に290,000kmを超えました。いつもきれいに、また大切に運転して頂きありがとうございました。お体に気を付けて、第3の人生を頑張ってください。



梅ヶ島新田地区の「初午祭」が執り行われました

毎年、新暦3月の第2土曜日をホンビ(本日)とする初午祭が、3月8日(土)に梅ヶ島新田地区で執り行われました。
この初午祭は、三日間にわたるお祭りで、当屋祭で神を招き、ホンビ(本日)に伝統の舞で神を歓待し、オリピラキで神を送るという、祭り本来の有様を大切に守りつつ、芸達者な方々の演し物も織り交ぜながら、賑やかな一時を過ごすという明るい新田の人々ならではの楽しいお祭りです。新田地区の人々は「正月に帰ってこれなくても初午には戻ってくる」というほど大切な祭りです。



中学一年の杉山隆雅君による「幣の舞」

正午からの神事後、中学一年生の杉山隆雅君による「幣の舞」をはじめ「米の舞」「弓の舞」などの江戸時代初期から少なくとも400年は受け継がれてきた伝統のある新田神楽が厳かに奉納されました。

その後、ひょっとこや獅子に扮した若者たちが、各家を門付けて回る「チキドン」に繰り出していきました。



各家を門付けて回る「チキドン」

初午の夜に公会堂で行われる余興では、17演目の神楽の他、様々な趣向を凝らした歌や踊りが披露され、会場を大いに盛り上げます。

市の無形民俗文化財に指定されている新田神楽は、梅ヶ島中学校でも総合学習の一環として、新田神楽保存会の方々の指導により受け継がれています。梅ヶ島中学校生による伊勢神宮での神楽「弊の舞」の動画がご覧になれます。

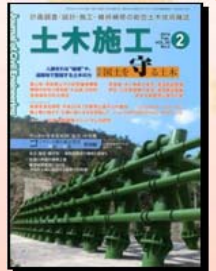
http://www.umegashima-j.shizuoka.ednet.jp/aspsrv/asp_movie/

新田地区の初午祭を見学して、長老の方、保存会、青年会、少年の各世代に確実に引き継がれており、礼儀作法も含め厳しい練習を日々繰り返してお祭りを迎えている様子が良くわかりました。

土木専門誌「土木施工」2月号に大谷山腹工事が掲載されました

月刊の土木専門誌「土木施工」2月号で、「国土を守る土木」の特集が組まれ、当出張所の「大谷山腹工事」が、富山県鳶山崩の砂防、南鳥島・沖ノ鳥島の保全、伊豆大島豪雨災害の対策などとともに掲載されました。

現場代理人の(株)新村組の志村秀範氏の執筆で、昭和40年代に大谷崩の対策工事に着手した頃の苦労話などが特に興味深い内容でした。



「土木施工」の特集「国土を守る土木」で大谷崩が掲載

年度末で工事完成間近

八重沢川砂防堰堤が完成

平成23年9月21日に来襲した台風15号による被災を契機に、本地区の人家や茶工場、県道29号線を土石流から守るため八重沢川砂防堰堤の建設に着手し、2年を掛けてこの3月に工事が完成しました。

堰堤の銘板を被害想定区域内に在住の小澤崇史君(大河内小2年)に毛筆で書いて頂き、3月20日の静岡新聞に掲載されました。まだ習っていない漢字でしたが、何枚も練習して一字一字丁寧に書いてくれました。

本堰堤が地域の縁の下の力持ちとなって、崇史君の成長や地域の発展を支えてくれることを願っています。

八重沢



崇史君、お父さん、森校長先生と



完成した八重沢川砂防堰堤



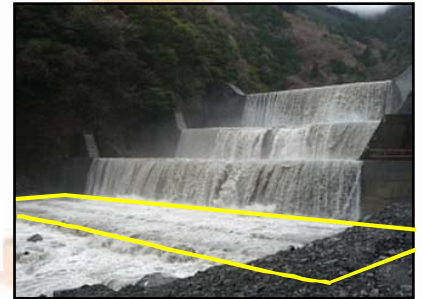
崇史君と(株)白鳥建設の方々(大河内小にて)

砂防施設補修工事が完了

大河内堰堤と金山堰堤は全国的にもまれな三段構造の砂防堰堤で、出水時の水しぶきを巻き上げる様は迫力満点です。そのため、堰堤下流ではブロックが摩耗・散乱し、河床が洗掘されていました。そこで、大河内堰堤で90t、落差の大きい金山堰堤では130t護床ブロックを現地で製作・設置しました。3月の出水時では、びくともしない安心感がありました。



大河内堰堤(90t護床ブロック)



金山堰堤(130t護床ブロック)

完成間近の大ザレ溪流保全工事

大ザレ地区は、河床勾配がきつく急流なため、コンヤ橋の橋台基礎部が洗掘し、護岸も被災してしまいました。そのため、護岸の復旧や床固工・根固工を設置し河床を安定させる工事を実施してきました。地域の皆様にはご迷惑をおかけしましたが、3月末で今年度の工事を完了する予定です。



平成23年台風15号の被災



完成間近の大ザレ(吊橋下流)

編集後記

梅や桜の開花が春を感じる季節となりました。今号では新田地区の初午祭を紹介しましたが、その他にも梅ヶ島・大河内地区では多くの春のイベントが開催されますので紹介致します。

- 3月16日(日) 大野木 梅まつり(梅ヶ島婦人会梅園)
- 4月5日(土) 有東木の神楽(白鬚神社)[市指定無形民俗文化財]
- 4月13日(日) コンヤ温泉 春まつり(コンヤの里さくら園)
- 4月29日(祝) 梅ヶ島温泉 新緑まつり(おゆのふるさと公園)

皆様からの情報やご意見を募集しますので、以下までお願い致します。

Tel:054-269-2003、E-mail:http://www.cbr.mlit.go.jp/shizukawa/05_jigyuu/02_office/toiwase.html



梅まつり(婦人会梅園)

